

七飯町海外交流研修報告書発行にあたって

七飯町とコンコード町は、1997年11月に姉妹都市提携の調印を交わしてから今年で17年を迎えました。

そして、この海外交流研修は今年度で20回目を迎え、10月28日から11月7日までの11日間、コンコード町に、総勢14名（中学生5名、高校生3名、引率教員1名、一般町民2名、役場職員2名、大沼国際交流協会職員1名）で訪問してまいりました。

現地では、全員がホームステイ体験をさせていただき、米国の文化や習慣を学びながら七飯町の魅力を紹介していただくなど、姉妹都市交流の目的を十二分に達成してまいりました。



七飯町長 中宮 安一

生徒たちは七飯高校の姉妹校であるコンコードカーライル高校において、一緒に授業に参加し、また、ラジオ局での生出演など多くの経験をしました。さらには「若草物語」の舞台となったオーチャードハウスや、アメリカ独立戦争発祥の地であるオールドノースブリッジ、また今年度はアメリカの一大イベントのひとつであるハロウィンの時期であったことから、中高生においては仮装してパーティーに参加、また、魔女の街として有名なセーラム市を案内していただくなど普通の観光ではできない貴重な体験をさせていただきました。将来を担う若者たちが自分の目や耳で直接体験することは計り知れない良い経験であり、生涯において大変貴重な財産になったことと思います。

一般町民代表の参加につきましては、国際交流事業を七飯町の産業振興に役立てたいという思いから、本年度は企業の後継者を対象に参加を募り、若手後継者の育成を図るため米国の経営事情や日本との類似点、違いなど直接企業と意見交換をし、学んでもらうことを主眼に実施しました。

引率教員におかれましても、現地の小学校にて、書道で漢字を教えるなど積極的に交流していただきました。

1998年からは、コンコードより国際交流員を招へいし、現在、第10代目になりますクリス・ハウエルさんも一般町民を対象に英会話講座の講師や町内の保育所での交流、また、両町の懸け橋となり精力的に業務に取り組んでおり、これからも両町の交流の輪をさらに広げてくれるものと思っております。

最後になりますが、本事業の実施にあたりまして、様々な形でご協力くださいました各中学校並びに七飯高校、地域、家庭の皆様、そして、心温まる受入をして下さったコンコード町の皆様方に改めて厚くお礼申し上げます。